

下高瀬小学校と豊浜小学校で米作り体験 ～「おいでまい」の収穫体験～

▼発生年月日：2023/10/13、10/17、10/20

▼執筆者名：相澤 美里

▼センター名：西讃農業改良普及センター

▼部門分類：水稲

▼活動分類：食農業教育・食育

▼公開：公開

▼備考：

▼本文

1) 三豊市立下高瀬小学校では、平成7年から毎年、地元の有志による「下高瀬子どもすこやかボランティア」の協力により、5年生がお米学習に取り組んでいます。

また、観音寺市立豊浜小学校でも、令和4年から5年生が総合学習として米作り体験を実施しており、どちらも香川県が育成した品種「おいでまい」を使用しています。

2) 下高瀬小学校では、6月下旬にみんなで手植えし、アイガモを使って除草してきたほ場で、10月17日に収穫体験をしました。

児童たちは、ボランティアの方から指導を受けながら、稲株を鎌で刈り取った後、事前に乾燥させておいた稲束を足踏みの脱穀機を使って脱穀しました。脱穀機で稲穂から粃が取れると児童から歓声が上がったほか、脱穀した粃を手動の「唐箕（とうみ）」を使って選別する作業も行いました。

3) 豊浜小学校では、6月中旬にみんなで手植えした学校内のほ場で10月13日に稲株を刈り取った後、みんなで協力して設置した「はぜ」に掛けて稲を干しました。また、10月20日に普及センターが準備した脱穀機等で「脱穀・粃すり・精米」を体験しました。

4) 児童からは「初めて稲を鎌で刈り取り、楽しかった。」「今まではお米を食べるだけだったけど、たくさんの苦労があってお米ができることが分かった。」などの感想が聞かれました。

今後、下高瀬小学校では「お米学習」の一貫として、11月23日に本門寺（三豊市三野町）で開催される「大坊市」で、児童がお米を販売することとしているほか、豊浜小学校では11月下旬の宿泊学習で自分たちが作ったお米を食べることとしています。

5) 普及センターでは、今後も関係機関や地元小中学校等と連携し、出前授業や農作業体験などを通じて、食の大切さや地域農業への理解を深める取組みを支援します。



下高瀬小学校の収穫体験（稲刈り）



豊浜小学校の収穫体験（はぜ掛け）